

患者の副作用歴を考慮した代替薬の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は服薬指導時に患者より聴取した情報を元にしたプレアボイド報告を紹介いたします。

患者背景

Aさん

▶ 免疫疾患に対しステロイドパルス目的で入院



薬剤師が薬剤管理指導に訪室

Aさん、明日からステロイドの治療がはじまりますね。



はい、先生からもお話を聞きました。夜、眠れなくなることがあるみたいでちょっと心配です。



眠れなくなった時は寝つきをよくするお薬を使うこともあるので、教えてくださいね。



他の病院に入院した時に眠れなくてね。アモバン®（ゾピクロン）というお薬を出してもらったんよ。他のお薬も色々試したけれど夜中に起きた時のことを覚えてなかったりしてちょっとお薬が合わなかったみたい。

医師へ提案

ステロイドパルス予定のAさんですが、他院に入院された際に不眠がありアモバン®を服用していたそうです。他の薬剤では一過性の前向き健忘が起きることがあったそうです。当院はアモバン®の採用がありませんが、アモバンの改良品のルネスタ®*（エスゾピクロン）がありますので不眠が出てきた場合はご検討お願いします。

医師



ステロイドパルスも始まると不眠が出てくる可能性がありますね。明日から不眠時に飲んでもらうようにルネスタ®を出しておきます。



新しく出してもらったお薬（ルネスタ®）でだいたい眠れました。特に変わったこともありませんでした。

薬剤管理指導で得た患者の情報を元に代替薬の提案を行い安全な薬物治療へ貢献できた。

*ルネスタ®はアモバン®の成分で効果があるS体だけを抽出して作られている。